



研究用試薬

## ヒストファイン

タンパク質分解酵素処理液  
ペプシン-ISH(AT用)

包装：40テスト(1.3mL×4本) Code：AT1542-2

製造販売元

株式会社ニチレイバイオサイエンス

〒104-8402

東京都中央区築地6-19-20

TEL. 03(3248)2208 FAX. 03(3248)2243

■本品は、自動染色装置ヒストステイナーAT用の試薬である。

### 1. 内容

ペプシン溶液。タンパク質分解酵素処理液。

液状。

即時使用可能な溶液に調製済。

1バイアル中に1.3mLを含む。4バイアルで構成されている。

### 2. 使用目的

ペプシン溶液は、ホルマリン固定したパラフィン包埋切片を用いた *in situ* ハイブリダイゼーション(ISH)の前処理を行う際、タンパク質を分解しプローブの浸透性を高める目的で使用する。

### 3. 使用方法

ホルマリン固定パラフィン包埋切片を用いた *in situ* ハイブリダイゼーション(ISH)の前処理に使用するタンパク質分解酵素処理液である。

1) 他の試薬とともに試薬ラック(AT用)にセットし、染色を開始する。

2) 染色終了後、すみやかに2-8℃に保存する。

### 4. 染色方法の設定

ヒストファイン ISH プローブ(AT用)の使用説明書を参照すること。

### 5. 貯法及び使用上の注意

1. 2-8℃保存。

2. 使用期限はラベルに記載されているので使用前に確認すること。

3. 使用後は速やかに冷蔵保存すること。

4. 異なるロットの試薬や他製品の試薬を混ぜたりしないこと。

### 6. 取扱い上(危険防止)の注意

1. 使用期限の過ぎた試薬は使用しないこと。

2. 本品に関する化学物質の安全情報は安全データシートを参照すること。

3. 本品を吸い込んだり、眼、口、皮膚、衣類などへの接触を避けること。

4. 本品の廃棄の際には、各施設や地域及び国のルールに従い、適切に廃棄すること。

5. 本品にはアジ化ナトリウムが含まれており、使用後は一般廃液ボトルへ蓄積される。アジ化ナトリウムは水道管に含まれる銅、鉛との反応によって爆発の危険性があるので、蓄積された試薬は多量の水とともに配水管へ流すこと。

6. ヒト由来の検体は、感染の恐れがあるので適切な取扱い及び廃棄法を用いるとともに、この *in situ* ハイブリダイゼーション(ISH)法を施行するに際し、関連技術及び操作法に充分習熟しておかなければならない。

■研究用としてのみ使用すること。